



197名の新入生(78期生)が入学、高校生活のスタート!

4月7日(月)に令和7年度の入学式が開催され、新入生・保護者・職員参加の下、197名の入学を祝いました(残念ながら在校生は参加できませんでした) 78期生を代表して生物資源科の平良力也さんから「仲間と助け合いながら、勉強・部活動の両立を目指し最高の高校生活にします」との力強い言葉があり、校長として頼もしく思いました。中本PTA会長からは「高校3年間を無駄にせず、心がけを大事に」との祝辞が贈られました。入学式の後には、HR担任の紹介及び各学科職員との顔合わせ等がありいろいろと困難なこともあると思いますが、皆で力を合わせてそれぞれの「夢」の実現に向けて頑張っていこうと気持ちを新たにしました。



新入生オリエンテーションの様子

入学式が開催された翌日の4/8(火)に新入生を対象としたオリエンテーションが行われました。高校での過ごし方を学ぶことを主な目的に農業クラブとは何か、人間関係づくりの講話や学校施設の案内など盛りだくさんの内容でした。私も最初に話をさせていただきましたが、新入生の「聞く態度」が大変素晴らしく(緊張もあったと思いますが?)頼もしく感じました。人間関係づくりの講話では、ビジネスマナー講師で社会福祉士の新垣聖子先生をお招きして、「アイメッセージ」や「クッション言葉」など新しい人間関係を作っていくときに心がけたい態度を教えてくださいました相手と話すときの順番として事実を伝え、自分の気持ち・要求を伝えるようにするとトラブルになる可能性を減らすことができると仰っていました。なるほどと納得し、私も南農生や先生方と話すときはこのことを意識していこうと改めて思いました。新入生にとって高校生活のスタートにいい研修になったと思います。



聞く態度も素晴らしい! 楽しく自己紹介しています

南農には5つの学科とそこで学ぶ539名の生徒、そしてその生徒を支える職員が約90名います。次回から5回に分けてそれぞれの学科を紹介していきますので高校進学のためのヒントの一つとして活用して下さい。

今年から「南風(みなみかぜ)」を発行していきます、皆さん見て下さいね!

この「南風」第1号を読んでもらった皆さん、初めまして。南部農林高等学校(通称、南農)校長の中村幸弘と申します。この4月に4年ぶり(通算、3回目)の南農勤務となりました。私自身これまで「学校便り」を発行していましたが、南農でも中学生をはじめ多くの方々に南農の事を知ってもらおうと「南風」を発行していきます。南農から風を起こすという意味でこのようなタイトルにしました。できる限り本校の理解に繋がるよう、そして中学生の皆さんには高校進学の際には南農を選択してくれるとうれしいなという気持ちで発行していきますので、よろしくお願いします。

4月に入りいよいよ令和7年度がスタートし、各学校や会社でも新入生を迎え新しい風が吹いていることでしょう。南農でも4/7の入学式の前に就任式・始業式が行われ、新たに26名の新任職員を迎えて学校生活が始まりました。今年は本校が沖縄県学校農業クラブ連盟の事務局を担当(農業クラブのことは、後日説明します)することになり、南農生には大きな責任と苦勞をかける一年となることが予想されます。しかしこの困難を乗り越えた先には、必ず成長が待っています。事務局の担当は2年間ですので、来年中学生の皆さんが本校に入学するいろいろな経験ができると思います、期待して待っていて下さい。

私は入学式のあいさつで新入生に心にとめて欲しい3つのことを伝えました。それは①南農で成長しよう ②他者を思いやる心を持つ ③何事も自分で決断する の3つです。南農での学習や行事等を経験することでこの3つの力が必ず身に付いてきますし、それを支えてくれる先生方がたくさんいます。この「南風」を通して南農の高校ライフを皆さんにお伝えしていきますので、是非教室に掲示されたときは見て下さいね!各中学校の先生方もご協力をお願いします!

今年の南農最大の行事は... 農業祭(12/13・14(土・日))です